

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2009-80815(P2009-80815A)

【公開日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-263489(P2008-263489)

【国際特許分類】

G 06 F	3/048	(2006.01)
G 06 T	13/00	(2006.01)
G 06 T	1/00	(2006.01)
H 04 N	5/66	(2006.01)
G 09 G	5/36	(2006.01)
G 09 G	5/00	(2006.01)
G 06 F	3/14	(2006.01)

【F I】

G 06 F	3/048	6 5 1 B
G 06 T	13/00	C
G 06 T	1/00	3 4 0 A
H 04 N	5/66	D
G 09 G	5/36	5 2 0 P
G 09 G	5/00	5 3 0 A
G 09 G	5/00	5 3 0 T
G 09 G	5/36	5 2 0 F
G 06 F	3/14	3 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月6日(2010.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の静止画像を入力する画像入力ステップと、

入力された各静止画像の中に含まれる人物の顔領域を検出する顔領域検出ステップと、

入力された各静止画像の合焦位置情報を取得する合焦位置取得ステップと、

検出した前記顔領域および取得した前記合焦位置情報に基づいて各静止画像をズーミングする表示効果を用いて、前記複数の静止画像のスライドショー表示を行うように制御する表示制御ステップとを有し、

前記表示制御ステップは、静止画像内の前記顔領域と前記合焦位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズーミングすることを特徴とする画像表示方法。

【請求項2】

さらに、入力された各静止画像についてユーザにより拡大表示の操作がされた場合に、拡大位置に関する操作履歴情報を記憶する操作履歴記憶ステップを有し、

前記表示制御ステップは、静止画像内の前記顔領域または前記合焦位置と、該静止画像内の前記拡大位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズ

ーミングすることを特徴とする請求項 1 記載の画像表示方法。

【請求項 3】

前記表示制御ステップは、静止画像内の前記顔領域と前記合焦位置とが重なっている重複領域が複数ある場合は、該複数の重複領域をパニングすることを特徴とする請求項 1 記載の画像表示方法。

【請求項 4】

画像を表示する表示手段と、

複数の静止画像を取得する画像データ取得手段と、

取得された各静止画像の中に含まれる人物の顔領域を検出する顔領域検出手段と、

取得された各静止画像の合焦位置情報を取得する合焦位置取得手段と、

検出された前記顔領域および取得された前記合焦位置情報に基づいて各静止画像をズーミングする表示効果を用いて、前記複数の静止画像のスライドショー表示を行うように制御する表示制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、静止画像内の前記顔領域と前記合焦位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズーミングすることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 5】

さらに、取得された各静止画像についてユーザにより拡大表示の操作がされた場合に、拡大位置に関する操作履歴情報を記憶する操作履歴記憶手段を有し、

前記表示制御手段は、静止画像内の前記顔領域または前記合焦位置と、該静止画像内の前記拡大位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズーミングすることを特徴とする請求項 4 記載の画像表示装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、静止画像内の前記顔領域と前記合焦位置とが重なっている重複領域が複数ある場合は、該複数の重複領域をパニングすることを特徴とする請求項 4 記載の画像表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この発明の第 2 の発明は、

画像を表示する表示手段と、

複数の静止画像を取得する画像データ取得手段と、

取得された各静止画像の中に含まれる人物の顔領域を検出する顔領域検出手段と、

取得された各静止画像の合焦位置情報を取得する合焦位置取得手段と、

検出された前記顔領域および取得された前記合焦位置情報に基づいて各静止画像をズーミングする表示効果を用いて、前記複数の静止画像のスライドショー表示を行うように制御する表示制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、静止画像内の前記顔領域と前記合焦位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズーミングすることを特徴とする画像表示装置。

ことを特徴とする画像表示装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

この第2の発明において、さらに、取得された各静止画像についてユーザにより拡大表示の操作がされた場合に、拡大位置に関する操作履歴情報を記憶する操作履歴記憶手段を有し、前記表示制御手段は、静止画像内の前記顔領域または前記合焦位置と、該静止画像内の前記拡大位置とが重なっている場合は、重なっていない場合に比べて高い拡大率でズーミングすることが好適である。